

パイロット通信 11 号

平成 30 年 2 月 5 日 (月)

①第 16 回「学びの変革」パイロット校事業に係る校内授業研究会について

1 月 25 日 (木) に第 16 回校内授業研究会を実施しました。2 年生の家庭科の授業で「身近な住まいのホームドクターになろう」というめあてで授業がスタートしました。^{ちようかん}鳥瞰図 (空を飛ぶ鳥の視点から地上を見下ろしたように描いた絵) を使って住まいの危険箇所を見つけ、その危険を回避するための対策を「危険箇所カルテ」と命名したワークシートに各自で記入し、その後全体で交流しました。生徒の危機管理意識もより高まり、生徒の事後アンケートは 4 項目すべてにおいて 90%以上の肯定的評価となりました。府中市教育委員会 木谷淳主査は「学びの必然性を生み出し、単元をどうデザインするか考えていってください。また授業のめあてとまとめを生徒から引き出すという授業にも挑戦してください」とご助言をいただきました。授業の課題と改善をワンパッケージと考え、第一中学校では 3 学期も学校全体で授業改善を進めています。



②第 17 回「学びの変革」パイロット校事業に係る校内授業研究会について

1 月 29 日 (月) に第 17 回校内授業研究会を実施しました。1 年生の国語科の授業で「少年の日の思い出」を題材に、「なぜ、読者はエーミールのことを『嫌な人物』だと思ってしまうのだろうか」という課題のもと授業がスタートしました。はじめ生徒は主人公の「僕」がエーミールにわかってほしいことを考え交流しました。その後、エーミールは「僕」に対してどのような反応をしたのか叙述を基に発表しました。両者の立場から心情を考えた生徒はその後、「僕」と「エーミール」のどちらに味方したいかという視点で、そのように考える理由も含めて考え、全体で交流しました。また、各自がどちらを支持するか一目でわかるように、自分の名前が入ったマグネット式のネームプレートを黒板に貼り付ける工夫をしました。生徒の事後アンケートでは「今日の授業はわかりやすい」の項目で肯定的評価が 100%となりました。府中市教育委員会 長岡徳恵主査からは「授業での課題提示の場面では生徒の言葉から課題を引き出せるような授業づくりを目指してください」とご助言をいただきました。生徒の考えを大切にした授業づくりを日々進めています。

